



# 図書室だより

館林市立第一小学校図書館  
2026年1月号



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。  
あっという間にすぎってしまう3学期も、本とともに楽しく過ごしましょう！



## うまが登場する本を紹介します



今年のえと午にちなんで、図書室にある馬が登場する本を紹介します。

### 『ぶどう畑のアオさん』（作：馬場のぼる）

馬のアオさんは森の中でくらししていました。ある日、アオさんがみた夢のとおり森のこみちを歩いていくとぶどう畑がありました。おいしいぶどうが、たくさん実っていました。次の日、アオさんと森のなかまたちがぶどう畑に行くと、こわいオオカミがとおせんぼをしています。そこでアオさんは…。  
強くてやさしいアオさんのお話です。



### 『ふたごのおうま』（作：住井すゑ）

けんたの家は、きょうそう馬をそだてています。ある日、お馬のお母さんが二頭の子馬タローとハナコをうみました。けんたは一度に二頭もうまれておおよろこびでしたが、お父さんとお母さんはがっかりしています。きょうそう馬として活躍できないと言われていたからです。けんたは「そんなことはない！」と、いっしょうけんめいに子馬をそだてます。四歳になったはじめてのレースでタローは？



### 『はちみついろのうま』（作：小風さち）

かみの毛のとても美しいむすめは、かじ屋のむすこのためにスープとジャムを作るため林へ出かけました。しかし、きのこもきいちごもありません。あそこなら、あるかもしれないとむすめは入ってはいけなひと言われている森に行ってしまう。かごいっぱいきのこやきいちごをつんで帰ろうとしたとき、魔物のおばばにあつてむすめは、馬にされてしまいます。かじ屋のむすこは、むすめを助けられるでしょうか。



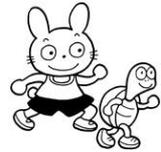
## すすめ！しんかんせん！

クラスで100さつ本をかりるごとに駅をひとつ進みます。

たとえば、1年1組のみなさんがかりた本の合計が400さつになったら、黄色(学年の色)のシールをあかだんの路線図に4まいはって4駅進みます。

路線図は“だん”で分かれています。

出発は北海道しんかんせんの新函館北斗駅です。ゴールの西九州しんかんせんの長崎駅をめざしましょう！  
(図書室のろうかの窓に掲示しています。)



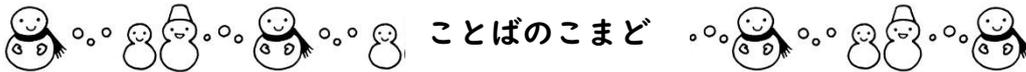
3月には、本を100さつ以上かりた人に、多読賞をおくります。

12月現在で78名が該当しています。

3学期もたくさんかりにきてね！まってまーす！



## 「寒さ」をあらわすことば



底冷え…体のしんまで冷えるぐらい寒いこと。

例：このあたりは、冬になると底冷えする日が続く。

ことばを知ると  
世界が広がる!?



かじかむ…手足の先が、寒さのために自由に動かさなくなること。

例：雪だるまをつくろうと思っただけれど、手がかじかんでうまくつけれない。



いてつく…こおりつくような寒さ。

例：いてつくような風がふいてきて、顔がいたい。

『言葉のたから箱②気持ちをあらわす言葉』(森山卓郎 2023年岩崎書店)より



## えほんで学ぼう！SDGs

## 16平和と公正をすべての人に

SDGsとは『私たちの未来を良くするための世界共通の目標』です。このコーナーでは、SDGsがめざす17のゴールにそった絵本を紹介しします。



世界の子どもたちの約9人に1人は紛争のある地域でくらしています。政治や司法などの社会環境を良くすることは、紛争をなくすための有力な方法と考えられています。

### 『せかいのひとびと』

(文・絵：ピーター・スピーアー)

「ある人たちは自分とちがっているというだけでよその人たちをきらう。そんなことっておかしいよ。その人たちは自分たちだってほかの人から見ればちがっているってことをわすれているんだ。」



参考文献『えほんで学ぶSDGs』(2022年 平凡社)